

## 第20回首都圏支部定期総会のご案内

日時：平成30年6月30日（土）

会場：丸の内ポールスター（下図参照）

（プログラム）

①受付開始 15時30分から

②総会議事 16時00分～16時50分

③講演会 17時00分～17時50分

講師：川瀬治氏（日刊工業新聞社編集局中小企業部長）

演題：「経済報道の現場から」

④懇親会 18時00分～19時40分

（会費）5,000円（平成20年度以降の卒業生は4,000円）

※本年度同窓会年会費（1,000円）未納の方は受付します。

（講師プロフィール）



東京都出身

平成6年3月 新潟大学経済学部卒業

平成6年4月 日刊工業新聞社入社

平成19年4月 日銀金融記者クラブ  
キャップ

平成26年4月 編集局経済部副部長  
平成26年11月 さいたま総局長

平成30年4月 編集局中小事業部長  
(現任)

第20回首都圏支部定期総会が  
6月30日（土）に東京駅丸の内北  
口のレストラン「丸の内・ポールス  
ター」において開催されます。  
講演会では経済学部を平成6  
年に卒業し、現在日刊工業新聞  
社編集局中小企業部長として活

躍中の川瀬治さんに「経済報道  
の現場から」と題してお話をだ  
く予定です。会員の皆様にはぜひ  
ひ総会に出席し、会員相互の交  
流を深めていただきますようお  
願い申し上げます。

なお、総会の出欠連絡用の葉

## 第20回首都圏支部総会 6月30日（土）丸ノ内・ポールスターで開催

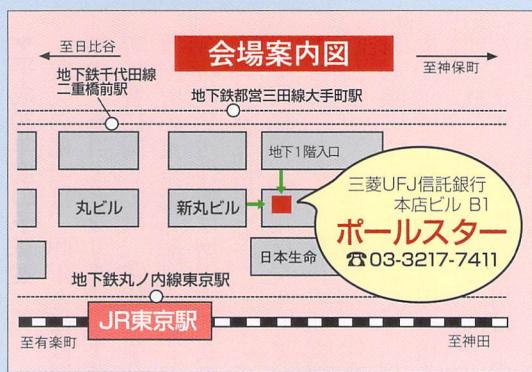
# まわ

新潟大学  
人文・法・経済学部  
同窓会  
首都圏支部 同窓会報

第30号（2018年5月発行）



編集責任者 山我正明  
事務局 TEL 024-0023  
東京都清瀬市竹丘 3-21-12  
E-mail: yamaga@smile.odn.ne.jp  
■ホームページ首都圏支部伝言板  
<http://n3-doso.niigata-inet.or.jp/doso/hyouji2.php3>



支部長挨拶ののち議事に入りました。  
議題は以下のとおりです。  
出席者は28名でした。

4月12日（木）丸の内・ポールスター  
で平成30年度第1回理事会が開催さ  
れました。

平成29年度決算監査報告  
平成29年度活動報告  
平成29年度決算監査報告

平成29年度活動報告  
平成29年度決算監査報告

平成30年度活動計画案  
平成30年度予算案

平成30年度（第20回）首都圏支部  
総会について

常任理事の異動について

議題①に関し毎月5日に発行し  
ている同窓会通信が昨年10月に第  
200号となつたこと、首都圏五  
年11月首都圏同窓会総会の準備、運  
営を行つたこと、

議題⑥に關し講演会では平成6  
年に経済学部を卒業し日刊工業新聞社  
で活躍中の川瀬治理事に「経済報道  
の現場から」と題して講演してい  
ただく予定であること、

議題⑦に關し桑原会計担当副支部  
長（45年経済卒）が退任し堀理事（46  
年経済卒）が後任となること、また  
若手組織化活動担当副支部長とし  
て現任の成田副支部長（58年経済卒  
に加え畠山理事（54年経済卒）が副  
支部長に就任することの提案説明が

平成30年度 第1回理事会報告



事務局長  
山崎彌代一  
(昭和44年経済卒)

特に議題⑦については昨年11月の  
理事会でも執行部の担い手不足が問  
題となりましたが堀理事、畠山理事  
に副支部長を引き受けさせていただきま  
した。次いで報告事項に移り山我副支  
部長（40年経済卒）から支部会報青  
松3号を5月24日発送予定であるこ  
と、石黒理事（41年経済卒）から工学  
部埼玉支部が6月の同支部の総会に  
首都圏支部から講師を派遣して欲し  
いと依頼が来ていることの報告があ  
り、後者については川瀬理事が講師  
を引き受けることになりました。

記念撮影のあと荒木理事（38年法  
卒）の乾杯の音頭で懇親会に入りま  
した。四方山話に花が咲き話題も尽  
きないところ阿部理事（39年法卒）の  
三本締めでお開きとなりました。

ありました。



4月12日開催「平成30年度 第1回理事会」

## 平成30年度支部活動計画

● 5月15日	第15回青松芝楽会
● 5月18日	常任理事会
● 5月24日	青松30号発送
● 6月13日	常任理事会
● 6月下旬	同人誌はざぎ (No. 11) 発行
● 6月30日	第20回総会
● 7月上旬	第79回青松ウォーキング
● 7月7日	支部間交流(新潟本部総会)
● 9月上旬	常任理事会
● 9月上旬	第80回青松ウォーキング
● 10月中旬	常任理事会
● 10月中旬	首都圏五十嵐会
● 11月上旬	第81回青松ウォーキング
● 11月下旬	第2回理事会
● 11月下旬	第16回青松芝楽会
● 12月下旬	同人誌はざぎ (No. 12) 発行
● 12月下旬	青松31号発送
● 1月上旬	第82回青松ウォーキング七福神めぐり
● 1月下旬	常任理事会
● 1月下旬	首都圏五十嵐会
● 2月中旬	第83回青松ウォーキング
● 3月上旬	※他に毎月5日「同窓会通信」を発信

## 平成29年度会計収支報告、 平成30年度事業予算案 及び会費納入のお願い



会計担当  
桑原 興一

▼平成29年度收支報告書

理事会および総会では参加者から参加費をいただいていますが、収支報告書には、支出総額から参加費を除いた純支出ののみを支出の部に掲載してきました。しかし今回の報告からはこの方法を改め、会費収入と費用支出総額の双方を記載する両建て表記といたしました。

総会には昨年度より多くの会員の参加をいただき、会費収入増により、純支出が低下いたしました。若手組織化の活動が計画通りに実施できず、予算未消化に終わりました。

【青松益講座】その14



# 「相続法改正の動きについて」

加澤正樹（昭和48年法卒）

先日の新聞で相続法改正の動きが報道されました。

●3月上旬 第83回青松ウォーキング

※他に毎月5日

設がありました。

▼平成30年度の予算案

収入の部では、昨年とほぼ同額の予算計上となります。事務所経費に關しては、常任理事会は田町の東京事務所を使用し、会報の発送作業は増田支部長のオフィスを使用させていただいている関係で、費用は発生していません。しかし、今後の状況変化によつて、他の場所での作業が必要になることに備えて、平成30年度予算では5万円を積み増し、合計15万円の予算といたします。その他の費用は平成29年度の実績を踏まえて、費用項目ごとの配分を若干見直し、配分金額の調整を行いました。

▼首都圏支部の会費納入のお願い

会費を納入いたたきました会員の皆様にはこの場をお借りして、御礼申し上げます。同封の振込用紙で、平成30年度の年会費（1000円）をお振込くださいとありますようお願いいたします。

## ●平成29年度会計収支報告（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

《収入の部》

	決 算	適 用	予算額	備考
前年度繰越金	187,305	事務所費100,000円含	187,305	
年会費収入	272,340	253名	300,000	
総会会費	269,000	両建て表示に変更	0	
理事会会費	104,000	両建て表示に変更	0	
本部助成金	1,200,000	昨年同額	1,200,000	
本部助成金(支部簡交流)	40,200		40,200	
就職支援活動費	0	実績ベースにより、当年度の本部から支給はなし	100,000	
預金利子等	2		40	
合計	2,072,847		1,827,545	

《支出の部》

項目	決算	適用	予算額	備考
支部会報発行費	814,243	年2回 青松28号,29号	850,000	
年次総会関係費	351,008	6/24丸内ポールスター	120,000	
理事会費	358,472	年2回	270,000	年2回
支部間交流交通費	40,200	本部総会2名	40,200	
若手組織化・同好会等事業費	115,458	首都圏五十嵐会、同好会活動	160,000	
常任理事会等打合会費	71,035	常任理事会、委員会他	90,000	
就職支援活動費	0		100,000	
事務所費	0		100,000	継続
事務経費他	44,843	事務用品・消耗品・振込手数料、他	70,000	
予備費	0		27,345	
合計	1,795,259		1,827,545	
次期繰越金	277,588	事務所費100,000円含	0	

#### ●平成30年度事業予算案(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

《収入の部》

予算額		計上説明等
前年度繰越金	277,558	事務所経費100,000円含
年会費収入	300,000	300人見込み
総会参加費	250,000	
理事会参加費	100,000	
本部助成金	1,200,000	昨年同額
本部助成金2(支部間交流)	40,200	2名分
就職支援活動費	100,000	本部予算
預金利子等	40	
合計	2,267,828	

《支出の部》

項 目	予算額	計上説明等
支部会報発行費	850,000	年2回(5月、12月予定) 青松30,31号
年次総会関係費	370,000	
理事会関係費	370,000	年2回(4月12日、11月)
支部間交流交通費	40,200	本部総会(2名)
若手組織化・同好会等事業費	140,000	五十嵐会・同好会活動
常任理事会等打合会費	90,000	常任理事会・委員会・他
就職支援活動費	100,000	新規(本部予算から充当)
事務所費	150,000	増額(+50,000)
事務経費他	70,000	事務用品・消耗品・振込手数料・他
予備費	87,628	
合 計	2,267,828	
繰越金	0	



皆様は、会報等を通じた新潟大学に関する何らかの情報を欲しているから会費の支払いを続けてきてくれているのではないかと感じます。そうした会員がいる限り、人文三



## 同窓会活動に想う

**畠山 力**

(昭和54年 経済卒)

この度、「若手組織化担当副支部長」をさせていただく事になりました。昨年まで、銀行員としてあちこちに赴任していました。定年退職して、今度は異なる業界で思ったのですが、やはり金融関係の会社ですが、フルタイムにて働いています。

私自身は若手でもなく、還暦を過ぎた孫3人のおじいちゃんです。年代のギャップもありますし、若い人たちのニーズを捉えられるかどうかは分かりません。また、若い人を集められる秘策を持つている訳ではありません。しかし今はそんな事を言っている状況ではないのです。このままで、同窓会首都圏支部は日本の高齢化をさらに先回りし、超高齢化してしまいます。活動が危くなっているのです。諸先輩に築き上げていただき、しっかりとした首都圏支部が「風前の灯火」状態です。これは二重に後継者を作つてこなかつた還暦世代に責任があるのだと思つた次第です。

ただ、日本の少子高齢化は移民を入れるしか「手」がありませんが、

学部首都圏同窓会の存続、発展に少しでもお役に立てばと思い、今回会計担当副支部長を高齢ながらお引き受けした次第であります。



## 同人誌「はざぎ」のこと

**森宗 幸夫** (昭和44年 人文卒)

「はざぎ」11号の作品を募集中です。我こそ：を期待して、ご投稿お待ちしています。

同人誌「はざぎ」は年2回の発行で昨年末に第10号を発行、5年が経過したことになります。

発行形態は予算の関係上、CD合います。

若手会と言えば、新潟五十嵐会がよく頑張っています。しかし、元祖はこちら首都圏にありました。10年以上前すでに、首都圏支部の高齢化の兆候が出ていました。これはま

ずい、若い人を集めようと、当時日本生命におられた52年法卒の小閑先輩に会長になつていただき(元祖)

「五十嵐会」を立上げました。私達はワイワイガヤガヤ何年か飲み会をやつしていました。また私が、沖縄や

大阪に赴任している間、成田さんが現役社長の中で頑張ってくれていました。

同窓会に来る動機は何でも良いと

思います。利害関係がなく、役職の上下もない、何でも話せる、都会のオアシスのようなところが五十嵐会、

今まで気が付かなかつたことが、

よつてはつきりとした記憶に蘇らせます。そこからまた、新しい記憶の発見が生まれたりもします。

今まで気が付かなかつたことが、

浮かんでくることあります。現在

生まれ故郷で様々な分野で活躍している人などの情報も多くあります。いろんな人に知り合えますよ。

今後はゼミの友人や同期のお手伝いもいただき、辛抱強く若い人の輪を大きくしていこうと思っています。

三つの福神を参拝し、黒目川に沿つて四番目の宝泉寺に向かいます。市内を歩いて最後の浄牧院につきます。1時を少し回りましたが、お正月でなまつた体に、良い健康ウオーキングになりました。

参加者21名(うち女性5名)

第76回 東久留米七福神めぐり

平成30年1月7日

お正月恒例の七福神めぐりで、今回は東久留米七福神を廻りました。スタートの西武池袋線東久留米駅舎に張り出した富士見テラスから快晴の富士山を見ました。南に向かつて300mくらい進むと湧水を集めた落合川に出ます。川に沿つていくと最初の多門寺につきます。テントを張つて参拝者に甘酒などを売つていました。

落合川に別れをつげ、一番目の米津寺に向かいます。ここは江戸時代の米津藩の菩提寺、歴代の殿様の墓などが並んでいます。

浄牧院:大黒天

東久留米市を横断して市の北端、黒目川にあります。



性4名

・参加者13名(うち女

性4名)

第78回は平成30年5月13日に、戸越銀座、戸越公園を歩く予定です。ウォーキングに興味のある皆さんのが参加をお待ちしています。

お願い 同封の振込用紙で、平成30年度の年会費(一千円)をお振込くださいますようお願いします。

川にできます。ここも湧水の川で、遊歩道があり散策に最適です。暖かな冬の日差しがいっぱい汗ばむほどの陽気でした。三番目の大門寺につきます。ここで最後の浄牧院につきます。市内を歩いて少しおまつましたが、お正月でなまつた体に、良い健康ウオーキングになりました。

第77回

南荻窪公園めぐりコース

平成30年3月4日

大正から昭和の初めにかけて医師・軍人・文化人の邸宅が多く建築された「東の鎌倉」と称されたという南荻窪をながら住宅街をのんびり歩きました。与謝野鉄幹・昌子夫婦の旧居跡に作られた与謝野公園、鐘楼と山門を兼ねた鐘楼門が珍しい中道寺、総理大臣を三度務めた近衛文麿が自決に至る期間を過ごした荻外荘のある公園、俳人で書店の創設者である角川源義の旧宅を改修した角川庭園、音楽評論家の大田黒元雄の屋敷跡を回遊式庭園として整備した大田黒公園、明治天皇が行幸時休憩した長屋門など巡つて歩きました。

・参加者13名(うち女性4名)

